

**中部横断自動車道(新清水 JCT～増穂 IC 間)
連絡調整会議(第3回)の結果についての知事コメント**

平成 30 年 7 月 5 日

- 中部横断自動車道は、本県にとって非常に重要な社会基盤となる高速道路であり、県民の期待も非常に高いものであります。
- これまでも、あらゆる機会を通じて、早期全線開通を求めて来ましたが、本日事業者より開通時期が若干遅れるとの見通しが示されました。
- 今年度、開通見込みの一部区間である富沢～南部において、開通が来年夏頃になることは、大変残念ではありますが、想定以上の工事難航によるものであることから、やむを得ないものと考えます。
- 難工事であっても、災害に強い、安全・安心な信頼性の高い道路づくりと、一日も早い全線開通を強く要請いたしました。
- 引き続き、県としても最大限の努力は惜しまず、沿線自治体とともに事業者と協力し、一日も早い全線開通に向け努力して参ります。

山梨県知事 後藤 斎